

山古、短歌、ひえのなる紀、仁和寺となせの山大井川ころもの大たとかはの万つ、みの肥前いはせのたき

〔藻鹽草水邊〕瀧

音羽瀧山城○白河瀧同○清水瀧同推嶺瀧同清瀧山城○戸なせの瀧同○龜尾瀧同○大井瀧同

中鳴瀧同○大澤瀧同○衣瀧同○稻荷瀧同○いはせの瀧八雲御説吉野瀧大和○稻淵瀧同○宮瀧同

中布留瀧同○鶯瀧同香具山瀧同○岩瀧近江○布引瀧攝州○箕面瀧同○とゞろきの瀧八雲御説鈴

鹿瀧伊勢○たとかはの瀧八雲御説那智瀧紀州○鼓瀧肥後○音無瀧同○湯下野○三重瀧紀州

山城國 音羽瀧

〔運歩色葉集〕遠音羽瀧

〔書言字考節用集〕乾一坤音羽瀧又作乙輪、城州愛宕郡、蓋洛中、有二三所、所謂清水牛尾、白川也、

〔古今和歌集〕二十家々稱證本之本乍書入以墨滅歌今別書之、

卷第十三 こひしくはまたにをおも紫の下略中

返し うねめのたてまつる

山玄なの音羽の瀧のをとにだに人の玄るべく我こひめやも

音無瀧

〔運歩色葉集〕遠音無瀧

〔雍州府志〕山川音無瀑 在勝林院之東山、瀑水傍岩腹而流、故近聽之無水音、

〔拾遺和歌集〕十題しらす よみ人えらす

戀侘びぬねをだになかん聲たて、いづこなるらん音なしの瀧

〔元亨釋書〕方應五役小角者、賀茂役公氏、今之高賀茂者也、和州葛木上郡、茆原村人、略中 小角嘗在攝州

箕面山、山有瀧、小角夢入瀧口、謁龍樹大士、覺後構伽藍、自此號箕面寺、爲龍樹淨刹、

〔元亨釋書〕四慧解釋千觀、姓橘氏、略中 應和二年夏旱、朝議勅觀祈雨、觀時居攝州箕面山、撰法華三宗相

攝津國 箕面瀧